

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部  
経済・開発協力班

当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネス・ニュースに加え、民間セクター及び関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネス・トレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX(旧 twitter)のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー及び拡散いただけますと幸いです。

コンゴ民主共和国東部のイトゥリ州を中心に、ブンディブギョ型エボラ出血熱が急速に拡大しています。世界保健機関(WHO)は、この流行を「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に指定し、紛争や避難民の増加、医療体制の不足により封じ込めは難航しており、隣国ウガンダでも感染が確認され、周辺国でも警戒が強まっています。

当代表部ウェブサイト：[https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)  
同 Xアカウント：[https://x.com/mission\\_japan](https://x.com/mission_japan)

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに  
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。  
[keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp](mailto:keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp)

## ■東部アフリカ

### (1)【ジブチ】多目的燃料ターミナル建設に着手

ジブチ市南部に位置するダメルジョグ工業団地で、エネルギー安全保障と地域貿易の強化を目的に、多目的燃料ターミナル・フューエルストール・ターミナルの建設が始まった。これはエネルギー及び物流インフラ開発における重要なマイルストーンとして歓迎されている。なお、投資額は1.6億米ドルに及ぶ。

<https://www.the-star.co.ke/business/2026-05-12-djibouti-to-construct-sh207-billion-fuelstor-fuel-hub>

### (2)【ルワンダ】オフグリッド目標達成のための太陽光発電協定

屋上システム、オフグリッド・ソリューション及び農業などの生産部門向け太陽光発電アプリケーションを網羅する900MW超の太陽光発電プロジェクトが計画されている。ルワンダ政府と太陽に関する国際的な同盟は、太陽光発電の開発を加速させるため、3年間の戦略的パートナーシップに署名した。

<https://allafrica.com/stories/202605130032.html>

### (3)【エチオピア】国家eモビリティ戦略2025－2030を発表

エチオピア運輸・物流省は、国連アフリカ経済委員会(ECA)、交通・開発政策研究所(ITDP)、世界資源研究所(WRI)と連携し、エチオピア E モビリティ戦略及び実施計画2025－2030を正式に発表。これは、同国のクリーンで効率的かつ持続可能なモビリティへの移行を加速させるための包括的な国家ロードマップと位置づけられている。

<https://www.uneca.org/stories/ethiopia-launches-national-e-mobility-strategy-2025%E2%80%932030>

#### (4)【ケニア】モンバサ港2つのターミナルを近代化

フランス「CMA CGM」社は、ケニア政府との協力枠組みの下、モンバサ港の2つのターミナルを近代化・拡張する。8. 2億米ドルを投資することで合意しており、2005年からケニアで事業を展開している同社によるこの投資により、貨物取扱能力が向上し、地域貿易回廊が強化される。

<https://splash247.com/cma-cgm-to-invest-820m-in-kenyas-port-of-mombasa/>

#### (5)【タンザニア】航空会社の拡大に1億900万ドルを計上

タンザニア政府は、今年度運輸予算において、エア・タンザニアの事業拡大と運営改善を支援するため、1.09億米ドルを計上した。マカメ・ムバラワ運輸大臣が議会に提出した予算文書によると、同国のフラッグ・キャリアである同社は、主に航空機の購入、予備エンジンの調達及び整備施設の改修のために資金を充てる予定である。

<https://punchng.com/tanzania-earmarks-109m-for-airline-expansion/>

#### (6)【タンザニア】タンザニアでの商業事業拡大を推進

ロシア最大級の輸送・物流企業の一つであるFESCOは、タンザニア国内での商業事業の拡大を検討している。同社は最近、同国のダルエスサラーム港へのコンテナ輸送を完了し、東アフリカに進出した。この初回輸送では、ロシアのノヴォロシースクからプラスチック製品や工業用部品が積み込まれ、インドのナヴァシェーヴァ港を經由して輸送された。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/russian-logistics-conglomerate-touts-expanding-operations-in-tanzania/450395f>

### ■西部アフリカ

#### (7)【ナイジェリア】スタートアップJiji、バングラデシュのクラシファイド・プラットフォームを買収

ナイジェリアのJijiは、バングラデシュ最大のオンライン・クラシファイド・マーケットプレイスであるBikroyを買収した。アフリカのテック企業は、大陸の外へ積極的に進出し始めており、この買収は、アフリカや中国などのテック企業がオンラインコマースの支配権を争う中、新興市場全体で競争が激化していることを浮き彫りにしている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/nigerian-startup-jiji-buys-bangladeshs-biggest-classifieds-platform-in-rare-african/cnzsfxn>

#### (8)【ニジェール】フランス系企業のウラン採掘権を取り消し

ニジェールは、戦略的鉱床であるアルリットにおけるフランス系企業の58年間にわたるウラン採掘権契約を解除し、外国企業との鉱業協定のあり方の見直しを行った。これは、同国が推進する資源ナショナリズムの動きにおいて、フランスの影響力削減に向けた広範な取り組みを象徴している。同国ではこれまでイムラレン鉱山におけるオラノ社の採掘権取り消しなど、同様の事例が確認されている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/niger-revokes-58-year-french-uranium-concession-at-arlit-in-sovereignty-push/xg4j10w>

## ■南部アフリカ

### (9)【南ア】75MW 太陽光発電所の建設を開始

南ア・エスコムは、フリーステート州のレタボ発電所を拠点とする、74百万米ドル規模の75 MW の太陽光発電所を着工した。これは、石炭火力発電所が中心である同社の発電設備群に再生可能エネルギー発電を統合する上で、大きな一歩となる。

<https://allafrica.com/stories/202605280029.html>

### (10)【南ア】スペインを抜いて世界一の柑橘類輸出国に

南アフリカはスペインを抜いて世界一の柑橘類輸出国となった。背景として新技術の導入、効率的な農業生産に加え、気候などの好条件が後押しした形だ。柑橘類生産者協会 (CGA) が最近発表したデータによると、2025年の南アフリカの柑橘類輸出量は290万トンで、スペインの270万トンを上回った。

<https://www.ewn.co.za/south-africa-overtakes-spain-as-world-s-top-citrus-exporter/>

### (11)【ナミビア】韓国がナミビアのグリーン港湾への移行を支援

ナミビア港湾局 (Namport) は、同国の10カ年グリーン港湾移行計画である「ナミビア・韓国グリーン港湾戦略プログラム」を加速的支援するため、韓国政府との新たなグリーン・パートナーシップを発表した。同パートナーシップはナミビアなどのパートナー諸国における港湾開発を支援するために2008年に韓国政府が主導して立ち上げたイニシアチブであり、国際港湾開発協力プログラム (IPDCP) を通じて実施される。

<https://www.portstrategy.com/environment-and-sustainability/namibias-green-port-transition-backed-by-south-korea/1508567.article>

### (12)【アンゴラ】アフリカ最大級のオフグリッド太陽光発電・蓄電複合施設を稼働

ポルトガルMCAグループは、アンゴラにて、約75MWの蓄電池システムと連動する約32MWのルアウ太陽光発電所を開設した。同太陽光発電所は、昨年末に稼働を開始したカゾンボ太陽光発電所が保持していた記録を上回り、現在アフリカ最大のオフグリッド太陽光発電所となっている。

<https://www.pv-magazine.com/2026/05/06/angola-switches-on-africas-largest-off-grid-solar-plus-storage-park/>

## ■北部アフリカ

### (13)【エジプト】GCC 企業がエジプト初の空港民営化事業に参入予定

GCC諸国及び欧州の企業やコンソーシアムが、旅客数でエジプト第2位のハルガダ国際空港の運営権をめぐり入札を行ったと報じられている。国際金融公社 (IFC) のエジプト担当カントリーマネージャー、サード・サブラ氏は、政府が民間セクターから提出された詳細な提案書の審査を今後2か月以内に完了する予定であると語った。

<https://www.agbi.com/infrastructure/2026/05/gcc-companies-bid-for-egypts-first-airport-privatisation/>

**(14)【エジプト】グリーン・スカイ・キャピタル、エジプトの SAF 生産施設への資金調達を確定**

ドーハに本社を置く地域的な持続可能な航空燃料(SAF)開発プラットフォームであるグリーン・スカイ・キャピタルは、エジプト・アイン・ソクナに建設される SAF 生産施設への資金調達を正式に決定。同社は、この動きを地域全体での大規模な SAF 産業構築における決定的な一歩であると説明している。

<https://www.gulf-times.com/article/725161/business/green-sky-capital-seals-financing-for-egypt-saf-production-facility>

**(15)【モロッコ】ステランティス、モロッコに中東・アフリカ地域初の自動車解体センターを開設**

ステランティスは、モロッコのカサブランカに自動車解体センターを開設した。これは、同社にとって中東・アフリカ地域初の施設となり、これによりサーキュラー・エコノミーへの取り組みが拡大することになる。

<https://www.just-auto.com/news/stellantis-first-mea-vehicle-dismantling-centre/>

■その他

**(16)【アフリカ・フランス】「アフリカ・フォワード・サミット2026」開催**

ケニアを中心としたアフリカ各国とフランスが、ナイロビにて開催した「アフリカ・フォワード・サミット2026」では、農業の変革、食料安全保障、そして強靱な保健システムに関する取り組み拡大の他、イノベーション、工業化、気候変動への強靱性、そして包摂的な成長に焦点が当てられた。同サミットではフランスとの包括的かつ戦略的パートナーシップが改めて確認された。

<https://allafrica.com/stories/202605130073.html>